

HIO YOG

教区新報



98 RENNYO-SHONIN
BIG FESTA 500

発行所 浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸 (078) 341-5949(代)
〔編集〕教区基推委広報部

1998. 12. 120号

平成十年十一月十三日、
今春三月十四日から十期百
日間に亘って勤修された、
蓮如上人五百回遠忌のご満
座法要が、ご門主さまご親
修、新門さまご出座のもと

教区から計2万2千人 蓮師遠忌法要がご満座

盛大に厳肅裡に営まれた。
絶好の法要日和の朝、境
内白洲に展示された猷菊展
が文字通り錦上添花を添え、
馥郁と香る華やきの中を全
国より参集の門信徒がそれ



ご満座法要を迎えて

それぞれの色鮮やかなスカーフ
等を肩に首に巻き、続々と
御堂に登っていく。九時半
頃には既に参詣者が御堂の
内外に溢れていた。十時十
五分「門信徒の集い」が開
かれ、法要開始直前の熱気
で一杯であった。
喚鐘の第一声が響きわた
り奏楽の音と共に縁儀の列
が進み、それぞれ内・外陣
に入堂着座、引き続き「奉
讃蓮如上人作法」による勤
行の音が御堂を包んだ。参

詣者も「参拝のしおり」を
手に「正信偈」「蓮如上人
奉讃早引」を唱和し、僧俗
一体の御堂はさながらお浄
土の風光かと見まがう荘嚴
な氣に満ち、満堂の群衆を
法悦の域に引き入れていっ
た。
ご満座法要の掉尾を飾っ
て豊原大成総長が全門信徒
を代表して焼香された。
そして、ご門主さまのご
親教があった。その内容は
百日間変わることなく、具

体的に懇切丁寧な私たちが念
仏者の実践の方向を説示さ
れたことは肝に銘じておき
たいことである。
更に続いて十二時二十分
「ご消息発布式」がもたれ
た。外陣正面に着座した総
長以下役職者、参詣者の前
にご門主は「蓮如上人五百
回遠忌法要御満座の消息」
(2頁に全文) をご親読さ
れ豊原総長に授けられた。
ご消息を拝受して総長は、
この度の法要の円成を感
佩し、ご門主さまご一家ご
一門のご苦勞を拝謝申し上げ、
次いで全世界僧俗門信
徒より寄せられた篤い懇念
に甚深い謝意を表した後、
向後、このご消息の意を体
し、来る平成二十三年の
「宗祖七百五十回大遠忌」
に向け、全念仏者のより一
層の団結と正法護持発展に
努力することを力強く決意
表明された。
かくして「ご消息発布式
も終わり「変革(イノベー
ション)」を総合テーマ、
「環境「家族」「いのち」
をキャンペンテーマとし
て繰り広げられた世紀の法
要は、参詣者四十万人(兵
庫教区約二万二千人)を超
える盛儀のうちに滞りなく
幕が降ろされたのである。



先月、N
HK放映の
「戒名の値
段」をご覧
になった方
も多かろう
と思うが、率直に言ってい
て、率直に言ってい
て、率直に言ってい
て、率直に言ってい

教区から		12・1月		15日(火)~16日(水)	
少年スタッフ会議	2時	別院常例法座	宮里俊哲師	1時半	
1日(火)~2日(水)		17日(木)		10時半	
近畿仏協協議会	舞子ピラ	門徒総代会評議員総会		3時	
2日(水)~3日(木)		18日(金)		10時	
豊岡教堂報恩講	棚原正智師	広報部会		1時半	
3日(木)~4日(金)		20日(日)		3時	
教区相談員中央研修会	豊岡教堂	震災支援「報恩講子どものつどい」		10時	
5日(土)		21日(月)		1時半	
第一土曜仏教講座	本山	基推委企画常任委員会		3時	
門推の日	藤実無極師	22日(火)		7時	
6日(日)		矯正研修会		別院	
江並教堂報恩講	多田満之師	仏青年忘れヤング広場		5時	
9日(水)		26日(土)		7時	
布教使育成研修会		別院・教務所事務終了式		別院	
10日(木)		31日(木)		5時	
ピハラー研修会		別院除夜会		7時	
11日(金)		1月1日(金)		別院	
仏協委員総会		別院元旦会		本山	
保育理事会・研修委員会		8日(金)		別院	
14日(月)		別院・教務所事務開始式		本山	
仏協・寺婦三役協議会		10日(日)		1時半	
		本山成人式			
		15日(金)~16日(土)			
		別院常例法座	中尾教雄師		

台風被害状況

心よりお見舞い申し上げます
—台風七号被害—【神戸中
組】▽徳照寺(廣岡行信) 床上
2戸【神戸湊組】▽尊光寺(前
川隆司) 床下1戸▽光明寺(田
中法範) 床下1戸▽善照寺(建
部浄信) 床上6戸、床下7戸▽
教覚寺(別所忠寛) 床上1戸▽
浄栄寺(小宅信水) 床上2戸、
床下1戸【淡路組】▽円徳寺
(巖野照) 本堂壁損壊、書院瓦
20枚破損▽宣勝寺(田近早弓)
本堂瓦80枚破損▽浄光寺(梅林
雅道) 庫裏瓦30枚破損▽万寶寺
(藤本教信) 塀壁一部損壊【姫
路西組】▽本徳寺(大谷昭世)
本堂渡り廊下屋根脱落。
—台風十号被害—【佐用組】
▽光栄寺(鷲谷晋教) 本堂床下
浸水、床下2戸▽常徳寺(杵築
俊昭) 床下5戸【岡山北組】▽
報恩寺(川端正道) 床上3戸、
床下4戸▽西岸寺(大原義賢)
床下1戸▽法眼寺(森哲朗) 床
上2戸、床下5戸▽正行寺(天
児直美) 床上2戸、床下1戸▽
浄円寺(大山龍英) 床上3戸、
床下8戸▽妙願寺(森嵩正) 境
内へ泥土、床下39戸、床下20戸
▽長泉寺(谷口昭道) 本堂・庫
裏床上浸水、床上7戸、床下20
戸▽宝福寺(正親隆哲) 参拝道
一部損壊、床上8戸、床下31戸
▽大雲寺(禿智久) 床上1戸▽
白道寺(藤井隆三) 床上3戸、
床下3戸

HIO日誌

◆10月1日 青僧会役員会
を別院で◆東京教区世田谷
組住職会・大阪教区榎並組
寺族婦人会・安芸教区広陵
東組寺族婦人会より別院に
団体参拝◆3日 第一土曜
仏教講座。講師は高橋事久
師(龍谷大学助教授)。講
題は「蓮如上人と現代」◆
蓮如上人五百回遠忌法要に
掛籠西組・出石組が団参◆
6日 東北教区青森組より
別院に団体参拝◆蓮如上人
五百回遠忌法要に網干組が
団参◆7日 別院仏協永代
経法要。講師は本川英暁師
(神戸中組西方寺)◆院内
消防訓練◆8日 蓮如上人
五百回遠忌法要に網干組・
多紀組が団参◆9日 山口
教区都濃東組浄蓮寺より別
院に団体参拝◆11日 安芸
教区沼田組専念寺伴保育園
職員会・北豊教区小倉組よ
り別院に団体参拝◆蓮如上
人五百回遠忌法要に播磨東
組・掛籠東組が団参◆12日
四日市別院・熊本教区菊池
組より別院に団体参拝◆蓮

敬吊

足利一臣師(あしかがが、
かずおみ) 阪神東組安養寺
衆徒) 十一月十一日、三十
六歳で往生。葬儀は十一月
十三日、安養寺で。「安養
院釋一臣」。

愛生園で40周年法要

如上人五百回遠忌法要に朝
来組・岡山南組が団参◆13
日 門推編集委員会を別院
で◆14日 別院永代経開關
法要◆布教団副団長会議・
役員会を別院で◆15日 16
日 別院常例法座。講師は
谷川弘顯師(神戸湊組高松
寺)◆真宗連盟講演会が別
院で◆17日 仏壮常任理事
会・理事会を別院で◆18日
阪神西組光明寺(永野一真
住職) 蓮如上人五百回遠忌
法要に高橋教務所長が祝辞
伝達◆19日 滋賀教区栗太
組より別院に団体参拝◆20
日 教区災害対策常任委員
会を別院で◆東海教区三重
組・山口教区山口南組寺族
婦人会より別院に団体参拝
◆21日 仏協常任委員会・
少年役員会を別院で◆22日
寺婦常任委員会を別院で◆
備後教区備中里組地福寺仏
教婦人会より別院に団体参
拝◆24日 モダン寺土曜子
供会を別院で◆奈良教区葛
城北組仏教壮年会・和歌山
教区和歌山組西教寺より別
院に団体参拝◆24日 25日
近畿ブロック仏青研修会を
別院で◆24日 25日 部落

解放研究第20回兵庫県集會
が加古川市立永水丘中学校で。
教区から7名が出席◆26日
奈良教区宇陀南組西法寺よ
り別院に団体参拝◆岡山北
組報恩寺(川端正道住職)
蓮如上人五百回遠忌・報恩
寺創建四百年記念法要に高
橋教務所長が祝辞伝達◆26
日 ピハラー通信編集会議・
青僧会役員会を別院で◆27
日 長島愛生園真宗同朋会
40周年記念法要が愛生園西
本願寺会館で高橋教務所長
安井担当者が参列◆門推幹
事会が別院で◆28日 大阪
教区茨田組成覚堂寺婦人会・
真宗大谷派岡崎教区第七組
真宗同朋婦人会より別院に
団体参拝◆職員会◆29日
広報部会・布教団若手役員
会を別院で◆30日 震災で
全焼された神戸西組信行寺
(米田陸雄住職) が震災復
興再建起工式を挙行。北村
贊事が参列◆31日 邑久光
明園真宗法話会より別院に
団体参拝。

蓮如上人五百回遠忌法要 御満座の消息

去る三月十四日よりお勤めしてまいりました蓮如上人五百回遠忌法要は、本日ご満座をお迎えいたしました。十期百日間にわたるご法要を厳肅盛大にお勤めすることができましたのは、仏祖のご加護と上人のご遺徳は申すまでもなく、全世界に広がる僧侶門信徒の方々の報恩謝徳のご懇念のたまものと、まことに有り難く存じます。

浄土真宗は本願成就の南無阿弥陀仏の名号のはたらきによって、凡夫が仏に成る教えであります。しかも、今ここに正定聚の身となることは、生死の迷いの根本を解決し、あらゆるいのちが如来の大悲につつまれていることに気付かされ、人間同士、互いに御同朋であることを知らされることであります。そこから、人々への敬愛のところが深まり、あらゆるいのちを大切にすることが深まり、如来のみこころにかなう生き方を志す新しい人生が生まれます。

このご法要を通して、私どもの「いのち」を育む「環境」問題や「家族」について学びました。私どもの周辺には「いのち」の尊厳を傷つける問題が山積しています。み教えを学び、お念仏を申しつつ、自らの人生の課題として、これらに取り組んでいくことが宗門のすすめていきます基幹運動であります。

蓮如上人のご生涯を通じてのご念願は、一人でも多くの人が阿弥陀如来の本願を信じ、お念仏を喜ぶ身になることでした。私たちは、今後、具体的な行動によってお応えしたいと思えます。そのためには、「聴聞」とともに、お互いに意見を交わし合う「話し合い」の法座を持つことが欠かせません。さらに、み教えが広く行きわたり、次の世代へ受け継がれるよう、文書などによってお寺との交流を密接にする一方、ご本尊阿弥陀如来を中心にした家族生活の形をととのえることも大切であります。

親鸞聖人によって開かれ、蓮如上人によって広く人々のところに定着せしめられた浄土真宗のみ教えが、全世界の人々のいのちの依り所となり、このころの灯火となりますよう努めてまいりましょう。

平成十年 十一月十三日
一九九八年

龍谷門主 釋 即 如

ご消息をいただき

平成23年の大遠忌へ 基幹運動をさらに充実

兵庫教区教務所長 高橋 廣 爾

初春三月十四日に始まりました「蓮如上人五百回遠忌法要」は、初冬十一月十三日に、十期百日間のご法要のご満座を迎えました。ご満座法要に引き続き、ご門主は「蓮如上人五百回遠忌法要御満座の消息」をご発布になり「浄土真宗のみ教えが、全世界の人々の

いのちの依り所となり、このころの灯火となりますよう努めてまいりましょう。」と、二十一世紀に向う私たちの取り組みの基本をねんごろにお示し下さいました。ご門主は、ご消息で、浄土真宗の教えは、凡夫が仏に成る教えであること、しかも現生において正定聚の



ご消息を親読されるご門主

自らの変革が課題

できることから始めよう

教区会議長 田中 法 劍

蓮如上人五百回遠忌の百日の法要がようやく終り、法要終了式でのご門主様のことばにも、ほっとされた感じが何われました。皆様方のお世話も大変であつたと思えます。蓮如上人ご一代の目覚ましい行動は、比叡山を怖れさせるほどの衝撃を世間に与えました。それは文字通りのいのちがけの活動であり

者、行動を始めることが期待されているのです。(神戸湊組光明寺)

家に仏壇、寺から便利

いま取り組むべきこと

組長会長 山本 宣 昭

ご門主さまのご親修で営まれた十期百日間の遠忌法要も十一月十三日のご満座で無事円成をみたことは誠に有り難いことでありました。取りわけご親教のなかで「具体的なお願い」として「先ず門信徒の方々のお住いに本尊・お仏壇を備えていただきたい。次にお寺からのお便りを門信徒の方におひとりおひとりに届けていただきたい」とお示しになりましたことは強く印象づけられました。また豊原総長は、「私ども一人ひとりがこの得難いご縁にお会いできた感激を忘れることなく(中略)具体的なご教示を仰ぎつつ具現化によって、より一層の法義の繁盛に努め、混乱の世をお念仏に導びかれつつ強く明るく生きぬく覚悟である」と強い決意のほどを表明されました。私たちは、このご法要を機縁に先ず具体的実践として「ご本尊の普及」「文書伝道の推進」に取り組みねばならないと思いを新たにしました次第であります。(淡路組萬行寺)



出はりに混雑



お念仏申しましょう



にぎわうイノベーションランド



総長がお出迎え



ご消息を拝受される豊原総長



休憩室で昼食